

## ■第1学期終業式にあたり(進路指導主事講話)

第1学期終業式において進路指導主事講話として話した内容の概要を掲載します。保護者の皆様もご一読ください。

面談での話で印象に残った1コマを紹介します。2年次に成績が上がった生徒に、「去年随分頑張ったんだね」と言ったら、「仲の良い友達がすごく頑張っていて、私も一緒に頑張ろうと思って勉強していったら少しずつ成績が伸びていきました」。すごく素敵なコメントだな、と思ったやりとりでした。そこにあるのは

- ・頑張ったのは自分なのに、「友達のおかげ」、と考えられる謙虚な姿勢
- ・互いにいい影響を与えながら前向きに頑張る仲間との関係

毎年先輩たちが目標に向かって頑張って、今の前女の実績を積み上げてきているわけですが、その土台となる象徴的な姿であると思います。

卒業後もOG達が喜んで後輩のために力を貸してくれるのもそんな雰囲気の流れであり、今の前女のスタイルであり伝統であると思います。皆さんも、日々何気ない日常のなかで、周りから刺激を受けることが多かったと思います。



明日から夏休みになるわけですが、1学期との大きな違いは「授業が一旦止まる」と、「自分自身で生活や学習をコントロールする時間が増える」ということ。

「授業が止まる」ということは、1学期の遅れを取り戻す絶好の機会であるということ。つまり、夏休みの大きな目標は、1学期にやり残したことをきちんと消化することです。夏休みの補習や宿題は、そのために用意されたものです。だから、まず補習と課題にきちんと向き合うことが最優先のテーマです。授業が止まることを最大限活かしてほしい。

そして、もう1つの大きなテーマは「自己管理」です。夏休み中は、自分の生活を自分で管理していく時間が多くなります。「周りの姿を見ながら」勉強する機会が少なくなるわけですから、知らず知らずのうちにペースが乱れ、遅れをとってしまう危険性もあります。そうならないためにも、

- ①補習や学習会など、学校の学習行事を最大限活用する
- ②しっかりとした計画を立て日々進捗状況を確認しながら学習する

ことが重要です。

計画の遂行率を高めるためには、「逆算的な思考」と「計画の細分化」が大事。「いついつまでにこれを仕上げる」「この日にこれこれがあるのでそこまでに区切りをつける」。のように。例えば全学年8月末には河合塾の模試があります。この模試は夏休みの学習成果を問うためのもの。この模試を1つの目標として、自分の弱点を克服する計画を立てるのもよいと思います。そのためにクリアしなければならない課題を「1日何問ずつ」「1週間で何ページ」のように具体的に設定して進捗状況を「見える化」するとよいでしょう。

そして最後に。計画を完璧に終了することを目指してはいけません。予定通りにはなかなかいかないことを学ぶことも大事。優先順位をきちんと設定し、これはできなかったけど、これとこれは仕上げられた、という達成感が得られる学習にしましょう。

勉強の話ばかりになりましたが、特に1・2年生は、勉強以外の場面で進路意識を高める機会も確保してほしい。MJ キャリアプラスのプロジェクトを進めたり、オープンキャンパスで大学調べをしたり。夏休みにしかできないこともたくさんあります。欲張っているいろいろなことに挑戦してください。

## ■夏休み中の校外模試について

夏休み後半には全学年河合塾の記述模試(全統模試)が予定されています。前半のメッセージでも触れましたが、全国レベルのこの模試を1つの目標として学習計画を立てるのもよいと思います。模試の後は、テストの反省を踏まえて不十分だった箇所をもう一度洗いだせばよいのです。

### 河合塾全統模試予定

- |     |                |          |
|-----|----------------|----------|
| 1学年 | 8月24日(土)       | 3教科(記述)  |
| 2学年 | 8月24日(土)       | 3教科(記述)  |
| 3学年 | 8月17日(土)18日(日) | 6教科(マーク) |
|     | 8月24日(土)       | 4教科(記述)  |

※3年生の2つの模試はドッキング判定として成績が算出されます。

### ■第3学年集会進路指導主事講話（概要）

来週から夏休みとなるこの時期に学年集会の場を設けたのは、7月と8月の、この約50日が皆さんにとって受験の大きなターニングポイントといえるからです。21日から夏季休業となりますが、21日からではなく、あえて今週から（今日から）「夏学習」への切り替えをしてほしい、というメッセージでもあります。

皆さんが受験する共通テストまで、あと200日を切りました。「まだ200日ある」と見るか、「もう200日しかない(やばい!)」と見るか。どちらの目線も必要だが、受験をうまく乗り切れるのは「まだ200日ある(いけるぞ!)」という目線をしっかりともてる人のほうだと思えます。夏休みを控え、ややもすると焦りばかりが先立ち「何から始めればよいのか」も分からない人もいるかもしれませんが、でも、200日あるということは、1日5問の問題を解けば1000問できるということです。1つの問題集を3回は繰り返せるだけの時間がまだあるということです。

ではこの夏、何をするのか？それはとにかく「土台作り」です。9月1日が入試の本番だったら畑を耕している時間なんてもうないですが今やるべきことは3月に大きな花を咲かせるようにしっかり土を耕して種をまき、丈夫な根をつくっておくということです。具体的に言えば「基礎を固める」「苦手科目を平均レベルまで上げる」「知識を増やす」。そしてそのためには「ここまでで逃げてきたことは何か」を考えることです。そうすれば自ずとやるべき事が見えてきます。単語やってこなかったのなら単語仕上げる、メジアンちゃんと解いてないなら全部解く。まずそういうものをto-doリストに挙げてみよう。その際に大切なことのひとつが「引き算の思考をもつこと」、言い換えれば「優先順位を明確にすること」です。4月の保護者会で「前女生は引き算が苦手」という話をしました。夏休みを迎え、実際「あれもやらねば」「これもやらねば」とやるべきことを挙げて足し算ばかりしていったらとても終わらない量になりませんか？前女生にはそれを全部こなそうとして挫折する人が多い。夏休みには膨大な時間があるような気がしますが、補習の予復習や模試、OCや調整時間などを引いた、自由に使える時間は思いのほか少ないことが分かると思います。だから、to-doリストにやるべきことを挙げたときに、優先順位5位くらいのは「これは余裕があればやるくらいにしておこう（最悪2学期になってから着手しよう）」「もしこれが夏休みにできるのなら私ってすごい！」くらいのイメージをもっておくことが大切なのです。ですから、夏休みの計画を立てる際のポイントは

- ① 優先順位を明確にする
- ② ミッションを分割する
- ③ 完璧を目指しすぎない

ことです。夏休みが終わったときに、「あれも終わらなかった」「これもできなかった」という思いばかりが残るのはダメです。「仕上がらなかったものもあるけれど、これとこれはきちんと仕上げた」というものが1つでも2つでもできれば、夏休みの学習は「合格」といえます。2学期スタートの時点で「達成感が得られる取り組み」を目指すことが、長い受験生活乗り切る秘訣だと考えます。壮大すぎる計画と理想をもちすぎないことが大事。そしてもう一度自分の足元を見つめ直そう。授業の取り組みはどうか。だらっとしている姿は自分も周りもだらっとさせる。居眠りなんかしている人は……。今一番大事なのは授業。その授業に自分のコンディションを合わせられない人が入試本番にピークをもっていけるはずがない。教室移動が遅いのも気になる。授業の準備ができていないとは思えない。凡事徹底。壮大なプランを考える前に身近なことをまず見直すことが大事。

また、勉強が行き詰まってくると「推薦」とか「指定校」などという言葉がちらつき「早く楽になりたい」という気持ちで心を占めてくることがあります。指定校や推薦は、確かに志望校合格のチャンスの1つではありますが、それほど希望していないところに出願したり、そもそも指定校の推薦がもらえるかどうか分からないうちからそのことばかり期待するのは大きな後悔のもととなります。推薦を受けても合格の保証はありませんし去年の指定校が今年も来るとは限りません。また、学校推薦型選抜の多くは評定平均等の推薦条件が課されるものが多いので、当然それをクリアしていないと推薦はできませんし、評定平均が課されない大学でも、高校として「優秀な生徒である」ことを保証し学校長の印鑑をもらうわけですから誰でも無条件に推薦がもらえる、という話にはなりません。2学期すぐに始まる総合型選抜を考えている人も、一般入試のための学習をしっかりと確保した上で総合型の準備をする必要があるということです。指定校の手続きについては全ての情報をまとめ後日アナウンスしますが、とにかく夏休みは雑念を排除して、地道に努力を重ね実力をつけることに専念すべきです。それが皆さんの可能性を大きく広げる一番の近道であると確信しています。